

令和元年度 石狩市教育委員会会議（9月定例会）会議録

令和元年9月24日（火）
第2委員会室

開会 13時30分

○委員の出欠状況

委員氏名	出席	欠席	備考
教育長 鎌田英暢	○		
委員 門馬富士子	○		教育長職務代理
委員 松尾拓也	○		
委員 山本由美子	○		
委員 穴水正	○		

○会議出席者

役職名	氏名
生涯学習部長	佐々木 隆 哉
生涯学習部次長（教育指導担当）	佐 藤 辰 彦
生涯学習部次長（社会教育担当）	東 信 也
総務企画課長	安 崎 克 仁
学校教育課長	佐々木 宏 嘉
教育支援センター長	開 発 克 久
社会教育課長（兼公民館長）	伊 藤 英 司
文化財課長	工 藤 義 衛
厚田生涯学習課長	相 原 真 一
浜益生涯学習課長	成 田 和 幸
学校給食センター長	近 藤 和 磨
生涯学習部参事（指導担当）	山 田 潮
総務企画課主幹	松 永 実
総務企画課総務企画担当主査	扇 武 男
同上	古 屋 昇 一

議事日程

日程第1 署名委員の指名

日程第2 議案審議

承認第1号 専決処分につき承認を求める件（訴えの提起の件）について

日程第3 教育長報告

日程第4 報告事項

- ① 令和元年度「俳句のまち～いしかり～」俳句コンテストの実施結果について

日程第5 その他

- ① 第64回（令和元年度）石狩市民文化祭の開催について
- ② 第20回石狩市民図書館まつりの開催について

日程第6 次回定例会の開催について

開会宣言

（鎌田教育長）ただ今から、令和元年度教育委員会会議9月定例会を開会いたします。

日程第1 会議録署名委員の指名

（鎌田教育長）日程第1 会議録署名委員の指名ですが、山本委員にお願いします。

日程第2 議案審議

（鎌田教育長）日程第2 議案審議を議題とします。

承認第1号の審議を非公開とする件について

(鎌田教育長) 承認第1号「専決処分につき承認を求める件(訴えの提起の件)について」は、石狩市教育委員会会議規則第15条第1項第9号に該当いたしますので、非公開案件として後ほど審議したいと思いますが、ご異議ありませんか。

異議なし

(鎌田教育長) ご異議なしと認め、非公開とすることに決定いたしました。

日程第3 教育長報告

(鎌田教育長) 次に、日程第3 教育長報告を議題とします。9月定例会での報告につきましては、別紙でお配りしています。また、先週閉会いたしました市議会第3回定例会での一般質問の質疑用紙をお配りしています。まず、事務局の主な動きについてご質問があれば受けたいと思いますが、いかがでしょうか。

(穴水委員) 市議会第2回定例会で山田議員から、本市は全国学力テストの結果が芳しくない指摘がありましたが、このことと、教育長報告の9月6日の学校力向上総合実践事業地域連携研修会との関連がありますか。また、この研修会の内容等について、教えてください。

(山田指導担当参事) 私からご説明いたします。9月6日、学校力向上総合実践事業地域連携研修会は緑苑台小学校で行いました。内容といたしましては、授業改善、学級経営のあり方について授業公開をし、講話をいただくという内容です。教科領域につきましては、道徳の授業ということになります。対象は石狩管内の小中学校の教職員です。

(穴水委員) わかりました。

(鎌田教育長) その他ございますか。よろしいですか。市議会第3回定例会の一般質問で質問等ありましたらお願いします。

(松尾委員) 阿部議員より、旧学校給食センターの建物についてのご質問がありましたが、ご検討されている中で、今の段階で、今後の方向感やスケジュール感など、お示しいただけるものがあればお聞きしたい。

(佐々木生涯学習部長) スケジュール感というところまで明確には示されていませんが、旧給食センターの建物は市街化調整区域に建っており、市街化調整区域内の建物を、民間が利用することは非常に制約があります。市役所あるいは、市役所に準ずるような団体が、利用せざるを得ないだろうという方向性は聞いています。

(松尾委員) どのような用途地域に指定されているかは、活用を検討する事業者等にとってかなり重要な点であり、周りの環境も阻害しない形でという前提ですが、利用を考えている事業者に合わせて、用途区域の検討も含めて、対応する方法もあるのではないかと思います。いかがでしょうか。

(佐々木生涯学習部長) 特定の事業者が利用するために、市街化調整区域を変更するという手続きは事実上不可能です。市街化調整区域であるという前提のもと、利用方法を模索しているというのが現在の動きとなっています。

(松尾委員) わかりました。

(鎌田教育長) 他にご質問等はございますか。

質問なし

(鎌田教育長) それでは、他に質問等が無いようですので、教育長報告については了承ということでよろしいでしょうか。

異議なし

(鎌田教育長) ご異議なしと認め、教育長報告は了承をいただきました。

日程第4 報告事項

(鎌田教育長) 次に、日程第4 報告事項を議題といたします。

報告事項① 令和元年度「俳句のまち～いしかり～」俳句コンテストの実施結果について

(鎌田教育長) 報告事項①「令和元年度「俳句のまち～いしかり～」俳句コンテストの実施結果について」、事務局から説明願います。

(伊藤社会教育課長) 私から、今年度実施した「俳句のまち～いしかり～」俳句コンテストの実施結果について、ご説明します。平成 17 年から始まりまして、この「俳句のまち～いしかり～」俳句コンテストも、一般の部については、今回で 15 回目、子ども俳句コンテストについては、14 回目を迎えています。ご存じのとおり、石狩では江戸後期から明治期にかけて、俳句の創作活動が非常に活発に行われていたという歴史的な経緯もあって、俳句文化の伝承という意味も含め、このような俳句コンテストを実施しています。資料の 2 頁、第 15 回俳句コンテスト、一般の部をご覧ください。今年度については 107 名、213 句の応募がありました。今年度の題、兼題は「朝市」でして、1 名 2 句まで応募できるというルールで、少なくともそのうち 1 句が兼題を盛りこむことになっています。応募は昨年よりも若干少ない数ですが、北海道内はもとより本州からも応募をいただいている状況です。選者は、北海道俳句協会から 2 名の方をお願いをしまして、今回の全体の感想として選者 2 名から、「朝市」という兼題がやや難しかったのではないかとというお話がありました。このことが応募数の減少に影響を及ぼしたのではないかと推測しているところです。賞としましては、天位 1 点、地位 5 点、人位 15 点、佳作 20 点の、合計 41 点を選出、今年度の最高位、天位には岩内町の「松本 きよし」さんの「生簀に烏賊放ち朝市はじまりぬ」が選出されています。

次に、3 頁、第 14 回子ども俳句コンテストですが、小学生 1,835 名、中学生 850 名、合計で 2,685 名の応募があり、1 名 1 句ですので、2,685 句の応募が、各学校を通じてありました。応募数は残念ながら昨年度より 369 名の減少となっております。内訳としては小学生が 386 名の減少、中学生が 17 名の増加となっています。選者については、市内の俳句団体から 4 名に依頼をしています。全ての句を見ていただいた上で、小学生、中学生ごとに優秀賞 10 句、佳作 10 句を選出しています。優秀賞、佳作、いずれにも選出されなかった学校については、5 校あったことから、学校の中で一番評価の高かった作品を努力賞として 5 点選出しました。表彰につきましては、令和元年 10 月 14 日(月)開催の市民文化祭にて、午前中の日程で行う予定です。なお、先ほど子ども俳句コンテスト

の応募者数の減少について説明しましたが、今回このように減少した理由として、学校での管理職の人事異動の際に、このコンテストの参加について、うまく引継ぎが行われず、俳句を学習する3学年のみの応募となった学校があったことが一因としてあり、参加する児童生徒数が減少したことを確認しています。次年度以降については、年度当初の各種説明会などの折に、石狩市の特色ある取組としてしっかり説明をし、伝えていきたいと考えています。私からは以上です。

(鎌田教育長) ただ今、事務局から説明がございました。この件について、何かご質問等があれば受けたいと思っておりますがいかがでしょうか。

(門馬委員) 一般論としてお伺いしたいのですが、俳句コンテストの対象者というのは全国からとなっておりますが、どのように周知をしていますか。

(伊藤社会教育課長) この周知については、石狩市のホームページの他、俳句の専門誌に載せたり、懸賞ではないですが、応募を広報するような雑誌に載せたりして、日本各地の皆さんにお伝えしています。以上です。

(鎌田教育長) これは15回も回数を重ねているので、全国的には周知されているコンテストでしょうか。

(伊藤社会教育課長) そのように考えています。

(鎌田教育長) 俳句をたしなむ方は、皆さん知っているのではないかと思います。

(門馬委員) 例えば俳句専門の雑誌があつて、私はそれを読んだことはありませんが、その中には石狩市だけではなく、いろいろなところの俳句コンテストが掲載されているのだろうと想像できますが、そういった俳句をたしなむ人達が読む雑誌にPRすることが中心になると思います。石狩市が俳句のまちだと知っている人は、市のホームページにアクセスすることがあるかもしれませんが、それを知らない人が俳句コンテストのことを知るとするのは難しいので、主な周知は、俳句雑誌が中心になるのではないかと思います。

(伊藤社会教育課長) 委員のお話のとおりだと思いますが、それに加え、懸賞を募集するような雑誌に掲載をすること。今お話のあつた、俳句の雑誌に掲載することかがメインだと思っています。この他に三重県の伊賀市は、松尾芭蕉の出身地ということもありまして、伊賀市が中心となって、日本全国の俳句を推奨して

いる市町村が一つの団体を作って、ユネスコの取組のほか、いろいろな活動をしていると聞いておりますので、こういったところからの情報提供ができるかもしれません。以上です。

(門馬委員) 道外からの応募者は、増加傾向にあるのですか。

(伊藤社会教育課長) 平成30年度から令和元年度に関しては、5名ほど減少していますが、概ね20名前後の応募があると把握しています。

(門馬委員) わかりました。

(鎌田教育長) その他ご質問等がございますか。

(松尾委員) 先ほど、三重県の伊賀市を中心に、俳句による取組を進めている自治体のグループがあると聞いたのですが、石狩市は、そのグループに入っていますか。

(伊藤社会教育課長) 入っています。

(松尾委員) 情報交換等いろいろな交流はあるのですか。

(伊藤社会教育課長) 情報交換等行っています。

(松尾委員) わかりました。

(鎌田教育長) その他ご質問等がございますか。

(山本委員) 小学生の応募が減少した理由として、管理職の異動ということが挙げられていましたが、毎年行っているものなのに、周知が管理職しか伝わってなかったということでしょうか。

(伊藤社会教育課長) 周知につきましては、各学校長あてに周知を行っていますが、学校でどのような取組をするかについては、管理職が中心となって方向を決めていくのではないかと思います。その際に、特定の学年だけという判断になってしまったと聞いています。今後そのようなことがないように、より多くの学年、児童、生徒に応募してもらえよう、石狩市の特色ある取組を理解していただき

たいと考えています。

(鎌田教育長) 結果として、低学年の入賞があまりなかったのですが、低学年の応募が少なかったということですか。

(伊藤社会教育課長) 応募が少なかった学校は2校あります。学習指導要領では、3年生で俳句を学びますが、3年生から6年生までの4学年で応募したところが1校、3年生のみの取組になったところが1校、合計2校です。学年でいうと、必ずしも低学年ではありませんが、若干応募数が減少しました。

(鎌田教育長) 他に質問等はございませんか。

質問等なし

(鎌田教育長) それでは他に質問等がないようですので、報告事項①については了解ということでよろしいでしょうか。

異議なし

(鎌田教育長) ご異議なしと認め、報告事項①は了解いたしました。

日程第5 その他

(鎌田教育長) 次に、日程第5 其他を議題といたします。事務局より2件のイベント開催についての説明をお願いします。

(伊藤社会教育課長) 私からは、第64回(令和元年度)石狩市民文化祭についてお知らせいたします。お手もとのカラー刷りのチラシをご覧ください。今年度の市民文化祭については、舞台部門が10月13日、14日の2日間、花川北コミュニティセンターにて開催予定です。展示部門が花川南コミュニティセンターで10月12日から14日、今年度は14日が祝日ですので、祝日も活かした日程となっています。また、2面になりますが、厚田の文化祭は10月19日、20日、浜益の文化祭は11月3日ということで、市内3ヶ所、旧石狩市地区については舞台部門と展示部門で2会場の開催となっています。また、今年度のテーマは「あらた」としており、これについては、年号も新しく切り替わったので、「気

持ちも新たに取組もう」という意味と聞いております。現在の応募の状況ですが、展示部門は、昨年とほぼ同数と見込んでいます。舞台部門については、若干団体数が少なくなっていると聞いていますが、例年通り盛況となるものと考えています。私からは以上です。

(東市民図書館長) 私から図書館まつりについてご説明いたします。お手元の A 4 のチラシをご覧ください。例年行っております図書館まつりですが、今年につきましては、10月26日、27日の2日間にわたって実施します。テーマは「おんがく」ということで設定いたしまして、下の方に書いてあるのがサブテーマなのですが、「ドクしょで広がるハーモニー みんな、ソろってランランラン」ということで「ドミソ」にかけています。裏面にプログラムの詳細を載せています。26日、27日のものと、両日共通のプログラムを載せています。ご多忙とは思いますが、是非足を運んでいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(鎌田教育長) ただ今事務局から、今後行われる2件のイベントの説明がありました。何か質問等があれば受けたいと思いますが、いかがでしょうか。

質問等なし

(鎌田教育長) 質問等がないようですので、この2件につきましては了解いたしました。

(鎌田教育長) その他ということですが、教育委員の皆さんから何かございますか。

ありません。

(鎌田教育長) 事務局からはありませんか。

(佐々木生涯学習部長) ありません。

(鎌田教育長) それでは日程第5、その他を終了します。

日程第6 次回会議の開催日程について

(鎌田教育長) 次に、日程第6 次回会議の開催日程です。次回については、10月29日(火)13時30分からを予定しておりますので、よろしくお願いいたします。以上をもちまして、公開案件は終了いたします。非公開案件の説明員以外の方はご退席をお願いいたします。

【非公開案件の審議等】
13時58分～14時02分

閉会宣告

(鎌田教育長) 以上をもって、9月定例会の案件は全て終了いたしました。これをもって、令和元年度教育委員会会議9月定例会を閉会します。

閉会 14時03分

【非公開案件の審議等の結果】

承認第1号 専決処分につき承認を求める件(訴えの提起の件)について

原案どおり承認した。(質疑等省略)

会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和 九年 10 月 10 日

教育長 鎌田英暢

署名委員 山本由美子

